



http://www.yamato-rc.org/

スマイルBOX

本日 ¥18,000 累計 ¥513,121

◆座間ロータリークラブ 会長 鈴木義隆様/伊藤会長を始めとする大和ロータリークラブ皆様、いつも大変お世話になっております。本日は年度末の忙しいところ、例会におじゃま致します。どうぞ宜しくお願い致します。

◆座間ロータリークラブ 幹事 樋田一徳様/こんにちは。今年度は伊藤会長、松川幹事、そして大和RCの皆様には大変お世話になりました。今後とも宜しくお願い致しますと共に伊藤会長のお早い例会復帰をお祈り申し上げます。

◆副会長 本田誠一会員/代理2回目の「会長の時間」会長も快方に向かっているそうで安心したところです。本日は、座間ロータリークラブより鈴木会長、樋田幹事がゲストで来て頂きありがとうございます。

◆幹事 松川健治会員/座間RCの鈴木様、樋田様、ようこそ大和RCへお越しくださいました。新会員のインニシエーションスピーチ楽しみにしています。

◆佐々木和夫会員/本日、インニシエーションスピーチする引田さん、畠山さん、楽しみにしております。

◆古木通夫会員/コロナ騒ぎにもかかわらず、キューリが順調に成長しています。

◆増正之会員/今日も暑くなりそうです。熱中症に気を付けましょう！

◆富岡弘文会員/今日は、例会場で直前に期前の会長幹事会に出席しました。PETSも全てZOOMです。コロナで時代は変わりますね。でも寂しいものです。

◆伊藤健司会員/家内の誕生日をお祝いいただき誠にありがとうございます。最高のプレゼントになりました。

◆相原聡会員/武田さんが描いたコロナ疫病退散のアマビエのぬりえに絵画を勉強している息子陽輝が応募していました。武田さんより本日豪華な賞品を頂きました。ありがとうございました。賞品テーブルイーゼルです。これです。

◆花岡淳子(あつこ)会員/先週、長男夫婦のところに2番目の女の子が誕生しました。来月にまた、もうひとり誕生します。例会に出席するのが難しくなるかもしれません。

◆山田己智恵会員/本日は、主人のおたん生祝い、ありがとうございました。

◆引田俊一会員/本日は宜しくお願いします。下手なスピーチですが頑張ります。

◆細川康治会員/今日で3回目の出席ですが、ようやく慣れてきました。今後ともよろしく宜しくお願い致します。



幹事報告

【幹事報告】

・3クラブで市立病院へ寄付を行い、御礼状が届きました。回覧します。

【ポスティング】

・次第・週報・地区大会報告書訂正シール・インニシエーションスピーチ資料

【回覧】

・タウンニュース(シルフィードへの支援金寄贈の記事が掲載されています)

・大和社協だより



今後の情報	日付	時間	回数	プログラム内容
	6月 30日(火)	12:30	2713	一年を終えて(会長・幹事)
	7月 7日(火)	12:30	2714	年度初めにあたり
	7月 14日(火)	12:30	2715	第1回クラブ協議会「年度計画発表」90分例会
	7月 21日(火)	12:00	2716	休会 取止め例会祝日週：海の日7/23

例会日	会員数	出席	出席%	欠席	欠席者名
6月 9日	34(7)	前々回	31	91.18	3 植松、森川、田辺
6月 16日	34(7)	前回	30	93.75	2 植松、田辺
6月 23日	34(7)	本日			



Since 1962 RI第2780地区 第6グループ

大和ロータリークラブ 週報

Yamato Rotary Club Weekly

http://www.yamato-rc.org/



【大和ロータリークラブ活動方針： 知り合いを増やし、奉仕の機会を広めよう】

例会場 / 北京飯店 4F : 会長 / 伊藤 彦二 幹事 / 松川 健治
 例会日 / 毎週火曜日12時30分~13時30分 : 会長エレクト / 富岡 弘文 副幹事 / 三浦 高義
 事務局 / 大和商工会議所内 TEL046-263-7926 : 事務局 e-mail / jimukyoku@yamato-rc.org

第2712回 2020年6月16日(火)

司会 / SAA 武田 茂君
 斉唱 / それこそロータリー S. L. / 戸張 美穂 君
 ゲスト・ビジター / 座間ロータリークラブ 会長 鈴木義隆 様/幹事 樋田一徳 様

会長の時間

四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラー (ハーブ) は、やり手で卓越したセールスマンであり、人の上に立つ人物でした。ハーブは行動家で

・真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうか

ある弁護士はハーブにこう言いました。「もし私がこのテストを厳密に実行したら、私は飢え死にしますでしょう。ビジネスに関して言えば、四つのテストは絶対に実行不可能です」。このテストは、自らの動機と目標を思慮深く検討するよう求めるものです。真実、公平さ、思いやりに対する強調は、道徳的要素を多く含有しているため、「倫理的消化不良」を起こしてしまう人々も確かにいます。四つのテストは、ビジネスという厳しく、変転きわまりない世界で生まれ、経済界が経験した最も過酷な時代の中で、厳密な試験を経てきたのです。それは、実業界という競争の場で生き残ってきたものなのです。今こそ必要なのは倫理的誠実さ！1930年代に誕生して以来、70年以上の歳月が過ぎ去ったこの現代社会では、ある人たちが批判するように、四つのテストは、その有効性を喪失してしまっているのでしょうか？ それとも、変化のテンポの速いこの時代においても、事業や専門職に携わる人たちの指針として機能するに足る洗練さを保持しているのでしょうか？

真実かどうか—真実は不変であり、時代を超越するものです。真実は正義なくしては存在し得ません。

みんなに公平か—顔を突き合わせてとは言わないまでも、腕を伸ばせば届くような所で、激しくやり合うビジネス手法に代わり公平さを取り入れたビジネスは、お互いの関係を傷つけるよりも、その関係向上に役立ってきました。好意と友情を深めるか—人は生まれながらにして、他者と協力して生きていく存在であり愛情を示すことは生来備わっている本能です。

みんなのためになるかどうか—この項目は、食うか食われるかを原則とする無慈悲な競争を排除するものであり、それに代わって建設的で創造的な競争を導入するものです。四つのテストは国家という枠を超えたものであり、国境や言葉の障壁を超越するものです。そこには、政治や独断や特定の信条は介在しません。一つの倫理規範としての存在以上である四つのテストは、いかなる形であれ、人生を成功に導くための要素を含み持っています。それは今日の社会でも有効性を保持し、かつ実効性のあるものなのです。最終的なテストは、実際に行動することにあります。

今日のロータリーの中核には、倫理的卓越性を使命とする四つのテストが存在します。人類は、共に繁栄することができるのです。現代のビジネスは、誠実かつ信頼のおけるものであり得るのです。人々は、お互いを信じ合うようになれるものなのです。

会長代理
 本田誠一 副会長



卓話

引田俊一会員のイニシエーションスピーチ

皆さんこんにちは。この度入会させていただいた引田俊一です。

先ず以って、父が1975年に入会して以来、皆様にお世話になりましたことを御礼申し上げます。

「ありがとうございました。」

父が心より楽しみにしていた大和クラブのクラブライフでありましたので、私も入会するにあたり色々と逡巡しましたが、スポンサーである佐々木さんのサポートもあり入会の運びとなりました。どうぞ宜しくお願いします。私は10年前に、大和中クラブに入会した経歴がありイニシエーションスピーチは2度目ですが、当クラブでは初めてなのでお聞きいただければと存じます。皆さんにお配りしている資料は、2012年のロータリーの友に掲載されたロータリーモーメント（心に残るロータリーの体験：投稿名は「父の背中」）の記事になります。私は医師という仕事柄、職業奉仕は出来るという自負はありましたが、それ以外には拠り所がありませんでしたので、私のロータリーへの思い入れ（意味合い）を込めて投稿いたしました。

私の話をさせていただきます。私は横浜生まれの大和育ちです。学業は、私学へ進みましてので地元の友達は少ないのですが、クラブのクリスマス会などは同年代の子どもたちも多く、非常に楽しかった思い出があります。そんな私が大学時代（医学部）に、クラブの会長を間近に控えた父が受けた健康診断の結果、脳動脈瘤の手術、闘病（リハビリ）ということになりました。「父の背中」に載せている通り、その生活は筆舌に尽くし難いものがありました。古木さんや（今では父親代わりでもある）加藤さんが幹事を引き受けていただき何とか会長職の一年を全うすることが出来ましたが、一連の経験は、「医療の限界」を突き付けら

れるものであり、「医師」を志す身の自分に「医療は身近な人も救えない。果たして医師になる意味があるのか。」と、その道を進むのを躊躇させるに十分なものでした。そんな思いを胸に月日は流れましたが、ボランティアで参加した海外の無医村の医療現場を巡る経験が少しずつ私の気持ちを変えていきました。それは、その日一日だけの出会い（診療）そして患者から寄せられた感謝の気持ち、ここを目指して遠方から訪ねてくれる人々の（良くなりたいたいという）思い、それを支える医療の大切さ（尊さ）でした。そして一念発起、卒業と同時に（父がお世話になった）北里大学の救命救急センターへ勤務することとなりました。勤務医として10年余、色々な出来事がありましたが、医師として人の命と向き合い全力で邁進してきました。時に落ち込むこともあり、感謝され勇気付けられることもありましたが、医師として有意義な時間を過ごさせていただきました。その後、平成13年に父と共同で鶴間の地でクリニックモールを開業しました。私の専門分野は脳神経外科、とりわけ脳と眼の関係を研究しています。

また学生時代より勤しんでいる医療ボランティアも活動の場をカンボジアに移して継続しています。無医村の町を、チームを組んで巡回し（日本スタイルの）健康診断を実施し、国ごとの比較やそのデータに基づいて各国の関係機関へ（問題点の改善の）働きかけを行っています。少しでも地域の人たちの健康に寄与できればと感じています。これからも出来ることを実践していく所存です。まだまだ未熟ではありますが、父にお寄せいただいた友情を私へもいただけたら幸いです。これからもどうぞ宜しくお願いします。

ご清聴ありがとうございました。



座間RC会長 鈴木 義隆様



座間RC幹事 樋田 一徳様



ご主人のお誕生日祝い 山田 誠司様
ご夫人のお誕生日祝い 伊藤 昭子様

家族の支えがあつてこそそのロータリーですね。



卓話

畠山直紀会員のイニシエーションスピーチ

皆さんこんにちは。この度入会させていただいた畠山直紀です。

私は、大和支店に配属される以前は大森に勤務しており、1年半ほど東京大森ロータリークラブへ入会していました。イニシエーションスピーチは入会約1年後に行いました。その時は資料もしっかりと作りこみさせていただき総ページ数も63ページになりました。（その反動か）今回はその時の手控え（経験）もあり資料は持ち合わせておりません（笑）

本日は、私の話と併せて横浜銀行大和支店の話も少しさせていただきたいと存じます。

時節柄、皆さんが気にしている特別定額給付金の納入状況ですが、実のところ思うように進んでおりません。

大和市には概ね13万強の給付件数があります。県内では一日に処理できる総数が決まっています、大和では約10,000件/日となります。営業日から換算しても終了までに3週間程度掛かる見込みとなります。

大和支店の歴史についてですが、1953年（昭和28年）高座郡大和町深見にて営業開始とありました。67年の歴史があります。現在の場所（駅前）で営業を行ったのが、1964年（昭和39年）でした。築年数からも分かる通り、目に見えるところは綺麗にしていますが、見えないところは結構古いです。移転などという話もチラホラありましたが、現在はな

く、（オフレコですが）今秋10月あたりを目途に（県央）4市統括の詰所を作る計画が進行しています。歴代支店長を見ますと私で35代目の支店長となります。

私の自己紹介をいたします。私は、昭和44年6月埼玉県川越市で生まれました。現在の家族構成は、妻と子ども二人（長男23歳、長女17歳）、7才の愛犬トイプードルです。私の父も（都市銀の）銀行マンで、幼少から転勤生活が続きました。小学校、最初の入学は札幌市でした、続いて中学までは甲府市へ移住しました。高校入学は、両親の居がある川越市から埼玉県立川越高校へ進学しました。卒業生にはノーベル賞受賞者や芥川賞受賞者もいる位に名門です（笑）余談ですが、映画「ウォーター・ボーイズ」でも有名な学校です。

大学を卒業してから最初の入行は大和銀行でした。マイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏が「銀行の機能は存続するが、現在の（ような）機能（店舗、窓口）の銀行は取捨選択、淘汰されていく。」と言っていました。現在、多くの銀行がコロナ禍の影響もあり経営が厳しい状況にあります。しかしながら横浜銀行は、地域の優良企業に支えられ、地域性を活かし、これからも皆様と共に発展していきます。どうぞ宜しくお願いします。

ご清聴ありがとうございました。

疫病を封じる妖怪として江戸時代に描かれ、新型コロナウイルスの感染よけとして人気を集めている「アマビエ」。

唯一、現存する摺（す）り物（京都大学付属図書館蔵）が、兵庫県立歴史博物館（姫路市）で23日に始まる特別展「驚異と怪異」（神戸新聞社など主催）で展示される。えも言われぬ風貌の何が人気を集めるのか。胸や腹はうろこに覆われ、鳥のようにとがった口。髪の毛は足元まで伸びている。特徴的な姿は、漫画家水木しげるさんが描いた妖怪画でも知られている。

この絵を見るか、描くかすると疫病にかからないという言い伝えがあり我がクラブの子供達に描いていただきました。



相原 陽輝さん



三浦 愛衣理さん



松川時於さん、葵和くん



アマビエ

